神奈川県鉄構業協同組合　　令和５年４月１日発行

月刊かながわ鉄構協ニュース NO. 156

Tel　045(290)7600
Fax　045(311)7761

青年部会がＪＦＥスチール株式会社の東日本製鉄所で研修会を開催

令和５年３月17日（金）午後、川崎区扇島にあるＪＦＥスチール株式会社の東日本製鉄所（京浜地区）を見学させていただいた。参加者は青年部会会員が13名、親会他５名の計18名だった。

2003年に経営統合で発足したＪＦＥスチール東日本製鉄所は、1912年設立の旧・日本鋼管㈱が立ち上げた京浜地区と、1950年設立の旧・川崎製鉄㈱が立ち上げた千葉地区からなる。

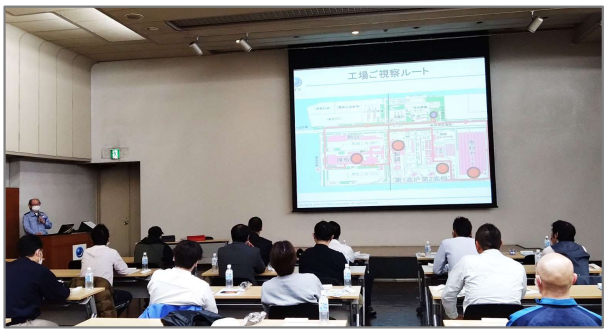
京浜地区の中心は、巨大な人工島扇島にあり、原料受け入れから製品出荷まで一直線に配備された合理的なレイアウトと最新鋭設備が特徴で、人と環境にも配慮した製鉄所になっているとのこと。

最初に、概要説明をいただいた後、原料ヤード→高炉→製鋼工場→厚板工場→出荷岸壁の順に案内していただいた。製鋼工場と厚板工場は工場内で見学をさせていただき、その他はバスの中からの見学であった。厚板工場では、真っ赤な鋼片がロールで何度も圧延され、徐々に厚鋼板へと加工されていく様は圧巻であった。

最後に記念撮影をし、質疑応答や補足説明をいただいた。

東日本製鉄所（京浜地区）の今後については、次のような説明があった。

現在稼働している第２高炉（第１高炉は既に休止）を始めとした上工程及び熱延設備は本年９月を目途に休止となる。厚板・溶接管・一部薄板ラインは引き続き製造を継続する。厚板圧延の素材となる鋼片は、同社西日本製鉄所倉敷地区で生産し、京浜地区へ供給される。



原料ヤード、高炉、製鋼等エリアの跡地はエネルギー関連事業等、様々な利用方法が検討されている模様。

ＪＦＥスチール株式会社の皆様、お忙しいところ、ご対応ありがとうございました。

マスクフィットテスターを試行　教育技術･総務合同委員会

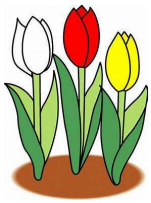
３月30日(木)の午後、組合事務所において、標記合同委員会を開催し、令和５年度から始める「定量的フィットテスト測定機器貸出事業」において使用する機器を稼働させてみて、不明点等の洗い出しを行った。

不明点や確認したいことは、メーカー(日本カノマックス社)に問い合わせるほか、６月12日(月)午後、かながわ県民センターにおいて、メーカーによる説明会を開催する予定である。

組合員の皆様には、改めてご案内をいたしますので、奮ってご参加ください。

㈱岸本建設工業からのお知らせ

URLとアドレスを次のとおり変更しました。
URL:https://fab-kisimoto.net/
E-mail:k.kisibe@fab-kisimoto.com



全構協青年部会関東ブロック協議会

報告　鈴木青年部会会長

標記協議会では、研修事業として、「ピンチをチャンスに。逆転の発想から生まれたヒット商品」をテーマに、３月３日(金)に新潟県加茂市のマスカガミ酒造の、普段は見ることができない、仕込み段階の工程を見学させていただいた。参加者は25名で、当組合からは私と田中関東ＢＣ出向理事が参加した。

酒造からは、良質な酒を醸すために、一番低価格な普通酒の製品でも精米歩合60%（米の外側の40%を磨くこと。せいぜい65%の蔵元が多い）としており、平均以上の良酒造りを心がけているとのお話があった。

新酒の目印の杉玉が飾られています

見学会の後、ホテルに会場を移し、質疑応答が行われ、引き続いて懇親会が開催された。

協議会のメンバーとは３年ぶりに対面できたことを喜び合い、美味しいお酒を呑み交わしながら、親睦を深めた。